

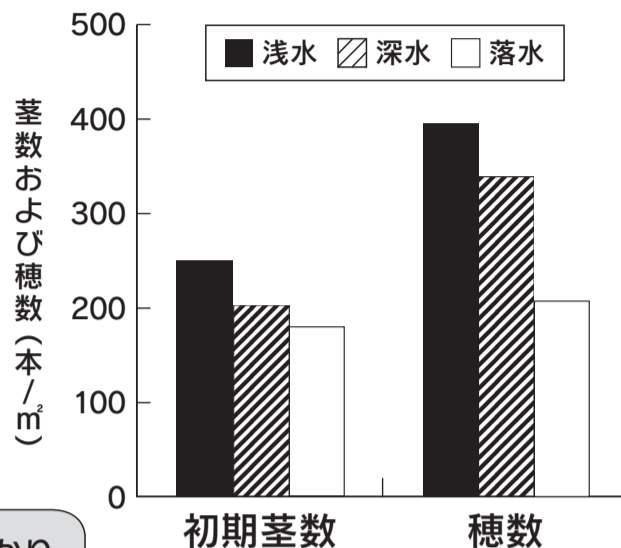
浅水管理を徹底し、初期分けつの確保に努めよう!

1 活着後の水管理

- (1) 2～3cmの浅水管理により水温、地温の上昇に努め、初期分けつを確保しましょう。
- (2) 入水は早朝か夕方以降に短時間で行い、日中は止水で管理しましょう。
- (3) チラ干しにならないように注意しましょう。
- (4) 寒い日や風の強い日は深水にしましょう。



浅水管理で初期茎数をしっかりとって、穂数確保につなげよう!



2 除草剤の散布

- (1) 雑草の発生状況を確認し、散布が遅れないようにしましょう。
- (2) 除草剤によって対象雑草や使用時期、使用量が違うので注意しましょう。
- (3) 散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しないでください。

(ただし、バサグラン粒剤は落水処理です。)

表1 中期剤（初期剤との体系で使用する場合）

| 除草剤名 | 対象雑草 | 10aあたり 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 使用上の注意点 |
|--------------|---------------------------------|---------------|---------------------------------------|------|--|
| ブイゴールSM1キロ粒剤 | 水田1年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ | 1kg | 移植後20～30日 ノビエ3.5葉期まで (収穫60日前まで) | 1回 | ・イネ4葉期以前の使用は避ける。 ・処理時期の平均気温が低温(15℃以下)や高温(30℃以上)が予想される場合の使用は避ける。 |
| サンパンチ1キロ粒剤 | ミズガヤツリ 他 | 1kg | 移植後20日～ ノビエ3.0葉期まで (収穫60日前まで) | 1回 | |

表2 雑草が残った場合

| 除草剤名 | 対象雑草 | 10aあたり 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 使用上の注意点 |
|--------------|--|---------------|-------------------------------------|------|---|
| フォローアップ1キロ粒剤 | 水田1年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ 他 | 1kg | 移植後25日～ ノビエ5.0葉期まで (収穫60日前まで) | 1回 | ・イネ5葉期以前の使用は避ける。 |
| バサグラン粒剤 | ノビエ以外の 水田1年生雑草 ホタルイ ミズガヤツリ 他 | 3～4kg | 移植後15～50日 (収穫60日前まで) | 1回 | ・晴天日を選んで散布。 ・雑草が露出する程度の浅水で散布する。 ・散布後3～4日間は入水・落水しない。 |
| クリンチャー1キロ粒剤 | ノビエのみ | 1kg | 移植後7日～ ノビエ4.0葉期まで (収穫30日前まで) | 2回以内 | ・ノビエ専用剤で残効性がない。 ・効果を高めるため、5cm程度の深水状態で散布する。 |
| | | 1.5kg | 移植後25日～ ノビエ5.0葉期まで (収穫30日前まで) | | |
| ヒエクリーン1キロ粒剤 | | 1kg | 移植後15日～ ノビエ4.0葉期まで (収穫45日前まで) | 1回 | |

※平成27年度農作物病害虫・雑草防除指針（県農林水産部発行）に基づき作成しました。

★ケーブルテレビでも営農情報を放送 JAアルプスのホームページから常時視聴できます。

『Net3パラダイス』（デジタル091ch）の中で『農業ファイル』を放送中。

（放送時間 6:45頃、10:45頃、17:15頃、20:45頃）

★春の農作業安全運動実施中（4/1～5/31） 転落・転倒事故をなくしましょう。

★生産履歴の記帳と適正農業管理（GAP）に取り組み、「安全・安心」な米づくりを進めましょう。

3 溝掘り作業 ～6月上旬頃までに実施し、中干しに備えましょう～

(1) 溝掘りの効果

- かん水が短時間で均一に行え、稲の水口冷えが抑えられるなど生育が揃い、また、除草剤の効果が高まる。
- 田んぼ全体の水をきれいに落とすことができ中干しが徹底できる。
- 水の走りが良くなり、間断かん水や飽水状態の水管理がしやすくなる。
- 田んぼ全体が均等に速く乾き、収穫作業がしやすくなり、稲収穫後に大麦播種等のための耕起作業がしやすくなる。

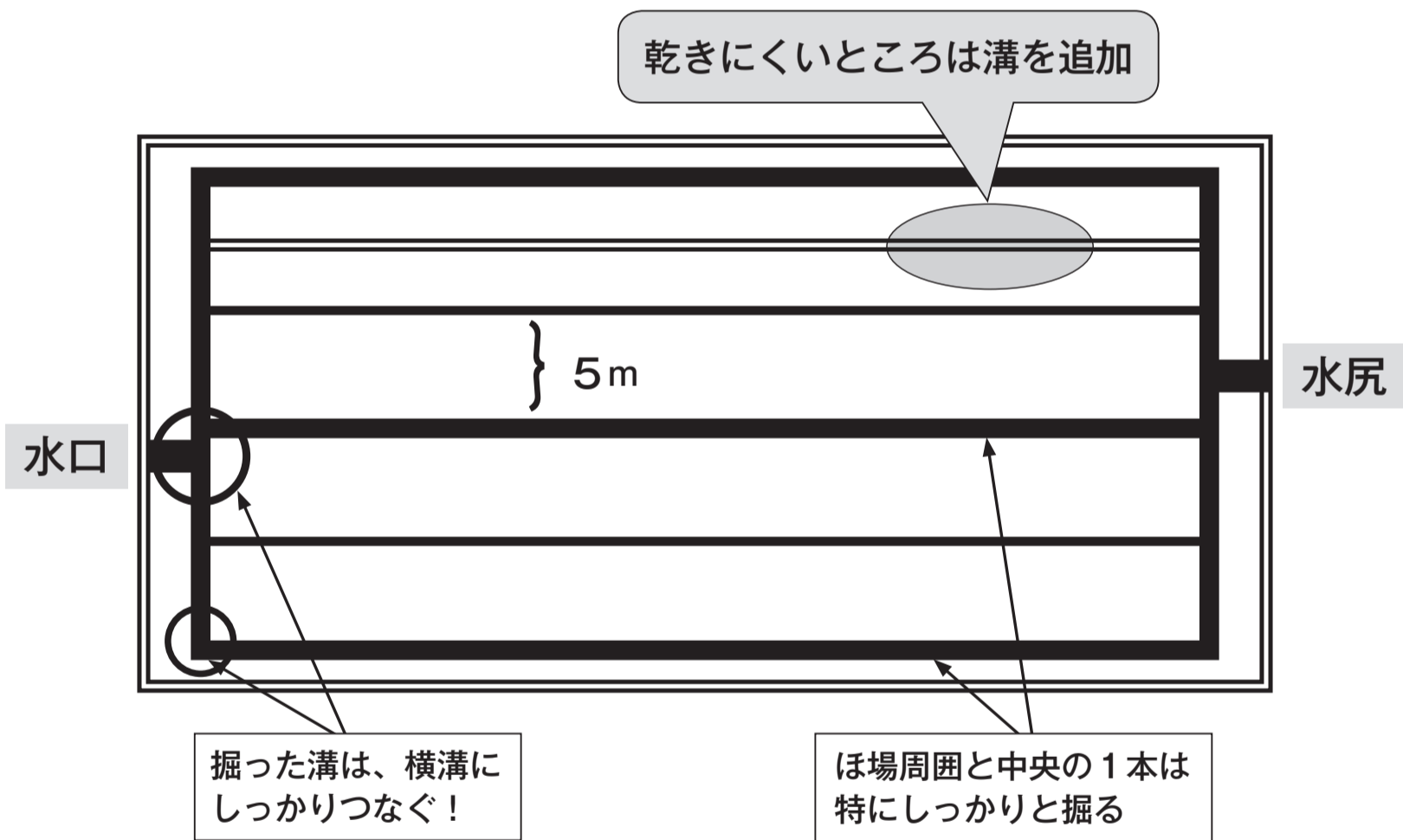
溝掘りとは

田面に凹凸があると、落水しても水がたまったままになったり、あるいは入水しても水があたりにくい場合があります。

これらを解消するため、深さ10～15cm、幅約20cmの溝を掘り、水管理をしやすくする作業のことを「溝掘り」といいます。

(2) 溝掘りの方法

- 溝を掘る2～3日前に落水し、土がやや硬くなった状態で作業を行う。
- 5m(10～15条)に1本程度を目安に溝を掘る。
- 乾きにくいところは、溝を多く掘る。
- 溝は、深く掘り下げた水尻に確実に連結する。
- 溝が埋まった場合は、再度掘り直す。
- 乗用管理機で掘る場合は、湛水して作業する。



縦溝と横溝をしっかりつなぐ



溝がしっかり残っている。



土が軟らか過ぎ、溝になっていない。